

令和3年度 兵庫県立猪名川高等学校 学校評価アンケート集計(評価平均)

評価項目	重点目標	担当部/学年	具体的取り組み	生徒 (全学年)	保護者 (全学年)	教員	全体	各部・学年の評価と課題点
安全・安心で地域に信頼される学校作り	地域や関係機関との連携を密にし、安全、安心して地域、保護者、生徒の期待に応える信頼される学校を目指す。	総務・学年・生徒指導・保健	① 学校HPの充実と努め、迅速に学校の情報を保護者や地域に発信し情報共有を行っている。	2.7	2.7	3.0	2.7	学校のHPの存在そのものの認知度を高める。修学旅行の行程を掲載したので認知度は上がった。
		総務・教務・進路指導	② 行事や公開授業などを保護者に案内し、教育活動への理解を図っている。	2.9	2.5	3.0	2.7	行事の保護者案内はしている。コロナ禍で行事が縮小になり保護者が見に来ることができなくなった。
		学年	③ 三者懇談や家庭訪問、個人懇談を行い保護者と連携している。	2.6	2.7	3.0	2.7	夏の3者面談でしか会えていない保護者はいるが、日常の連絡は取っている。
		総務・教務・進路指導・進路指導・生徒指導	④ 生徒が地域でボランティアなどで活動する仕組みを整え、猪名川町関係機関と連携している。	2.5	2.0	3.0	2.3	「ちよこつボランティア」などの取り組みを通して、ボランティアに参加した生徒が多かった。
		生徒指導・学年・保健・いじめ対応チーム	⑤ 医療機関やキャンパスカウンセラーをはじめ関係機関と連携を図り、安全、安心な環境を整えている。	2.5	2.6	3.2	2.6	カウンセリング希望の生徒・保護者への相談体制を整えられている。
基礎学力の定着と進路実現	基礎・基本的な知識や学力の定着を図るとともに、主体的に考え、正しく判断し、行動できる力を育成し、生徒一人ひとりの夢・目標の実現を支援する。	教務・進路指導・教科・学年	⑥ 公開授業や研究授業、研修等を通して、教師自ら学び続ける姿勢を持ち教材の精選や指導方法の改善に努めている。	3.0	2.6	3.1	2.8	コロナ禍で公開授業がなく、授業の様子が保護者に伝わっていない。
			⑦ 各教科において高校3年間で生徒が到達すべき目標を明確にし、シラバス及び年間計画を設定し生徒に周知している。	2.7	2.7	2.7	2.7	ICTや学習支援アプリによる生徒個々の学習状況に合わせてサポートを充実すべきである。
			⑧ 少人数指導、習熟度別学習指導や補習、課題等を通して「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能の定着や基礎学力・技能の向上を図っている。	2.9	2.7	2.9	2.8	3年間を通して「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能の定着に力を入れる。
			⑨ 「他者との対話」を中心とした授業や課題解決等に取り組む授業を実施し、学習意欲の高揚や学習習慣の定着を図っている。	3.0	2.6	3.0	2.8	他者との対話を中心とした授業を行っているが、対話の内容を深化させるような指導が必要である。
			⑩ ICTの活用技術を向上させ、授業の中で活用している。	2.9	2.1	3.0	2.5	授業におけるICTの活用が教員個人によるものとなっている。
			⑪ 生徒が主体的に自己の進路について考え個性に応じて進路を選択できるよう、自己理解の促進や進路学習などに取り組んでいる。	3.0	2.8	3.0	2.9	3年生では進路指導の成果が現れている。言葉遣いが正しく挨拶のできる生徒が多くなった。
			⑫ 学習支援アプリなどを活用し、生徒に振り返りを促し、自己理解や学習習慣の定着について指導をしている。	2.5	2.4	3.0	2.4	特に3年生向けの活用の年間計画を作成するなど、週末課題以外の活用法の模索が必要である。
			⑬ 各種検定試験や高大連携を実施し、生徒の進路実現に向けて指導をしている。	2.4	2.8	3.1	2.6	英検や漢検に挑戦する生徒が増えた。生徒自身が自分の目標に向かって学力を伸ばすよう計画を立て、実行できる力をつけるために検定等の周知を徹底する。
基本的な生活習慣と規範意識の確立	基本的な生活習慣と規範意識の確立を目指し、生徒一人ひとりが社会の一員として道徳性に富み、豊かな自己表現が図れるよう支援する。	学年・教科・生徒指導・教務・保健	⑭ 生徒に健康管理や時間管理に留意させ、欠席・遅刻をしない生活態度を確立するよう指導をしている。	3.1	3.2	2.4	3.1	遅刻などの指導は生徒保護者に伝わっている。保護者とも連携を強め、改善していきたい。
		学年・教科・生徒指導・教務・進路指導	⑮ 生徒が挨拶や言葉遣いなど、場に応じた言動ができるように指導をしている。	3.2	3.1	2.2	3.1	生徒保護者にはマナー指導も伝わっている。組織的な指導を徹底していく。
		学年・総務・生徒指導・教務	⑯ 教室の清掃、身の回りの整理整頓を行い学習環境の整備に努めている。	3.2	3.0	2.4	3.0	大掃除を定期的に行っている成果があり、意識が高い。
		学年・生徒指導	⑰ 行事やHR活動に主体的に関わるようにするとともに集団の一員である意識を高め、他者と協働する力を育てている。	3.1	3.1	2.6	3.1	生徒会が中心となって学校行事を運営できている。
		生徒指導・学年・各委員会	⑱ 生徒会を中心とした各委員会活動を積極的に実施している。	2.8	2.7	3.0	2.8	生徒会が主体となって委員会活動を行っている。
社会の変革に対する「キャリア教育」の推進	社会の大きな変革に対し、高い志を持ち、自らの課題の解決に取り組む力や円滑な人間関係を築く態度を育成する「キャリア教育」に取り組む。	進路指導・学年・総合的な探究の時間委員会	⑲ 職業ガイダンスや分野別進路ガイダンスを計画的に行い、生徒が自分の人生について考える機会を与えている。	3.0	2.9	3.2	2.9	進路についてはまだ具体的に自分の将来の姿を考えられていない生徒もいる。
		進路指導・学年・総合的な探究の時間委員会	⑳ 仕事(職業)を通して地域や国際社会に貢献する意識付けを行っている。	2.8	2.6	2.7	2.7	社会人としての生活を現実的に捉え、学校生活の中で将来を見据え、努力をするよう指導する。
		進路指導・学年・総合的な探究の時間委員会・体育祭実行委員会・特色類型委員会	㉑ 学年縦割りグループ(ブロック演技・特色類型の活動)を編成し、生徒が主体的な活動を行っている。	3.0	2.6	3.4	2.9	体育祭を始め、クラス縦割りで行われる行事などで生徒が主体的に活動している。
		進路指導・学年・総合的な探究の時間委員会	㉒ 手帳やポートフォリオなどを活用し、生徒自らが活動の行動計画を立て、省察を行っている。	2.6	2.2	2.4	2.4	手帳の活用について、趣致徹底をはかる。
		学年・生徒指導・人権福祉委員会	㉓ 各学年の人権教育の年間指導計画を立て、HRでの学習や全体学習を行っている。	2.9	2.6	2.9	2.8	年間を通して、人権HRを計画し人権意識を高めるよう指導を行っている。
		学年・生徒指導・人権福祉委員会	㉔ 普段の教育活動で人権に配慮し、道徳を重んじた指導を行っている。	2.9	2.7	2.6	2.8	「ポジティブキャンペーン」などで他者との関係について考える集会やLHRを実施している。
自他の生命の尊重	自然への畏敬の念とふるさとを愛する心を育むとともに、自他の生命と人権を尊重し、ともに学び生きる心を育てる。	学年・人権福祉委員会	㉕ 特別支援学校等の交流実践を通して多様な価値観を認め支え合う共生の心を育てている。	2.9	2.9	3.2	2.9	分教室との交流授業を積極的に行っている。次年度はより活発にしたい。
		学年・人権福祉委員会	㉖ 特別支援学校と連携して特別支援教育研修を行い支援が必要な生徒の支援計画を立てている。	3.0	2.8	3.0	2.9	分教室との合同研修などを行っている。次年度は個々の支援計画作成に取り組む。
評価平均				2.7	2.6	2.8	2.7	